

新庁舎建設



■ 問い合わせ先 新庁舎準備室 ☎ (40) 5568

■ 工事現場の様子



航空写真：東側から敷地を見る(6月16日撮影)



定点写真：南側から敷地を見る(6月27日撮影)

■ 地盤改良工事の様子



地盤改良工事の様子

現在、現場では地盤改良工事を行っています。地中に直径1・6m、長さ約4mの地盤改良杭を庁舎棟と付属棟を合わせて630本程度施工し、建物を支えるしつかりとした地盤を作ります。

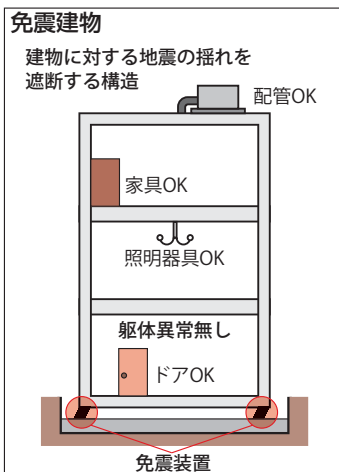
◆ **新庁舎建設工事が始まりました**
新庁舎建設事業は、5月21日に起工式を終えて、工事が始まりました。

◆ 新庁舎は災害に強い建物です

新庁舎は市民の安全・安心な暮らしを支えるため、災害時などに防災拠点としての役割を担えるよう、次の機能を有する災害に強い建物です。

■ 地震に強い免震構造

基礎と土台との間に、免震装置を付けることによって、地震が起きた時の地面の揺れを建物に伝わりにくくし、建物自体が地震の横揺れに強いだけでなく、建物の揺れそのものを軽減することによって室内への影響も軽減することができます。



■ 停電時でも給電可能な自家発電装置

災害時に電気の供給が途えたときでも3日間(72時間)の連続運転が可能で、情報機器や防災対策室等に給電することにより、庁舎の機能を維持することができます。

■ 免震装置の現場見学会を予定しています

免震装置の市民見学会を10月頃実施する予定です。詳細が決まりましたら、広報紙及び市ホームページにてお知らせします。